



2024年3月期

中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

業績ハイライト (百万円未満切捨て)

売上収益

6,125億71百万円

前年同期比 6.8%増
(通期見込 1兆2,300億円) ↑

コア営業利益

816億48百万円

前年同期比 45.3%増
(通期見込 1,550億円) ↑

営業利益

815億76百万円

前年同期比 51.4%増
(通期見込 1,630億円) ↑

税引前四半期利益

715億49百万円

前年同期比 44.1%増
(通期見込 1,390億円) ↑

親会社の所有者に帰属する四半期利益

485億47百万円

前年同期比 38.1%増
(通期見込 970億円) ↑

基本的1株当たり四半期利益

112.16円

(通期見込 224.09円)

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

2024年以降の
中間報告書の
廃止につきまして

中間配当のご案内と併せて株主の皆様へお届けしておりました本報告書につきましては、その内容が当社ウェブサイトにて公開しております決算短信、統合報告書やその他ウェブサイト上の内容と重複していることに加え、地球環境等に配慮する観点から、次回2024年より廃止させていただきたく存じます。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解いただきますとともに、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご参考：当社ウェブサイト IR情報ページ >> <https://www.nipponso-hd.co.jp/ir/>

株主の皆様へ



代表取締役社長 CEO 濱田 敏彦

企業理念

NSHD Group Philosophy

The Gas Professionals

進取と共創。ガスで未来を拓く。

Proactive. Innovative. Collaborative.
Making life better through gas technology.

グループビジョン

NSHD Group Vision

私たちは、革新的なガスソリューションにより
社会に新たな価値を提供し、
あらゆる産業の発展に貢献すると共に、
人と社会と地球の心地よい未来の実現をめざします。

We aim to create social value through innovative gas solutions that increase industrial productivity, enhance human well-being and contribute to a more sustainable future.

株主の皆様には、平素から当社の事業運営に格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当上半期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)における当社グループの事業環境は、ウクライナの地政学的問題、米中貿易摩擦、世界的な物価上昇、円安の進行、主要顧客の一つである半導体産業の稼働状況などにより、引き続き、先行きを見通すことは困難な状況でした。また、主に鉄鋼、化学、石油精製向けにオンサイトで供給するセパレートガス(酸素、窒素、アルゴン)の出荷数量は、前期比で減少しました。一方、特に欧米で、エネルギーコストは一時期の高値圏に比べ下落基調に入り、セパレートガスの製造原価に多く占める電力コストの負担は前期に比べ緩和されました。また、コスト増加分の販売価格への転嫁等のグループ全体での価格マネジメント、および様々な生産性向上に取り組みました。

このような状況の下、当上半期における業績は、売上収益6,125億71百万円(前年同期比 6.8%増加)、コア営業利益816億48百万円(同 45.3%増加)、営業利益815億76百万円(同 51.4%増加)、親会社の所有者に帰属する四半期利益485億47百万円(同 38.1%増加)となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、株主の皆様に対して安定的・継続的に利益を還元するという基本方針に基づき1株につき20円(前期の中間配当金は1株につき18円)とさせていただきます。

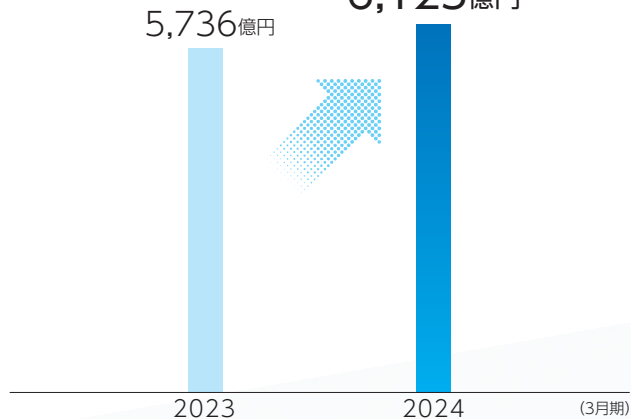
株主の皆様におかれましては、当社に対しまして引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月
代表取締役社長 CEO

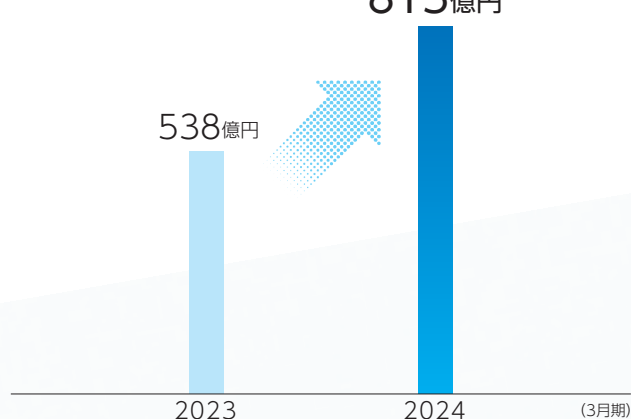
濱田 敏彦

業績ハイライト (上半期)

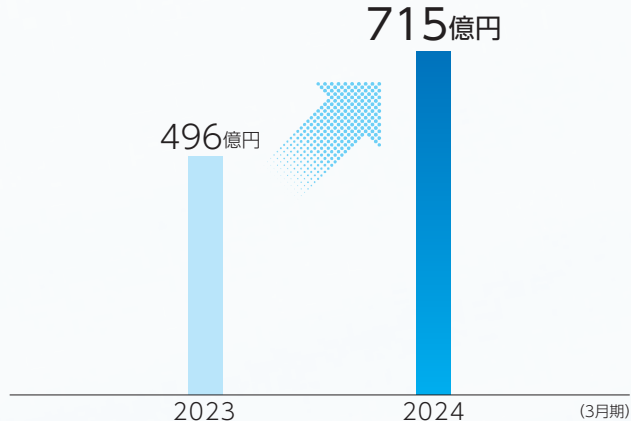
売上収益



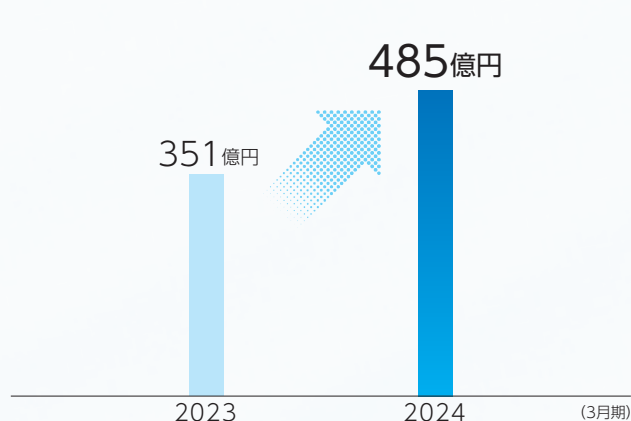
営業利益



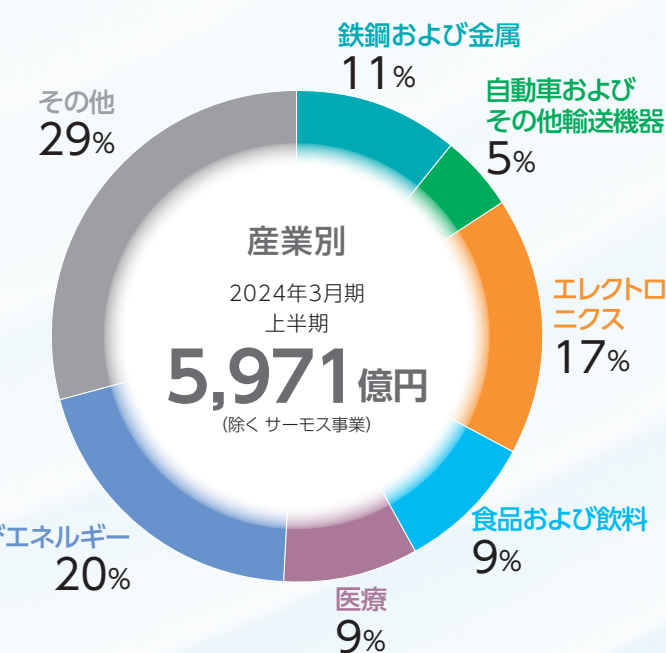
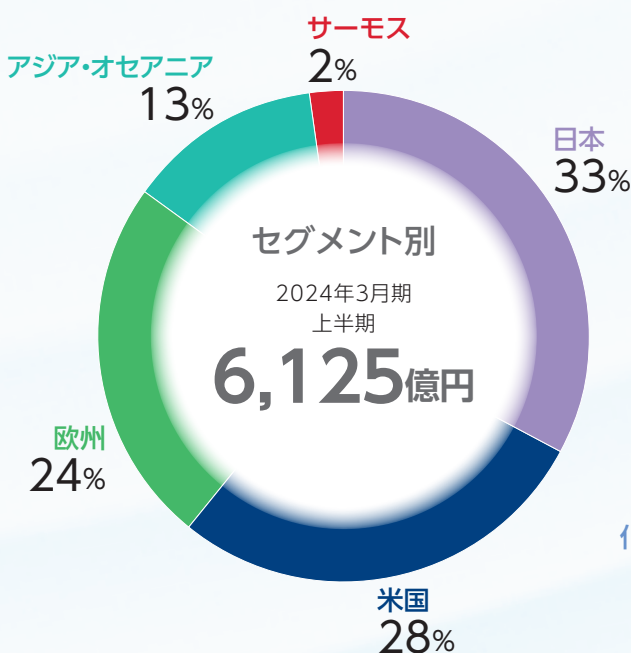
税引前四半期利益



親会社の所有者に帰属する四半期利益

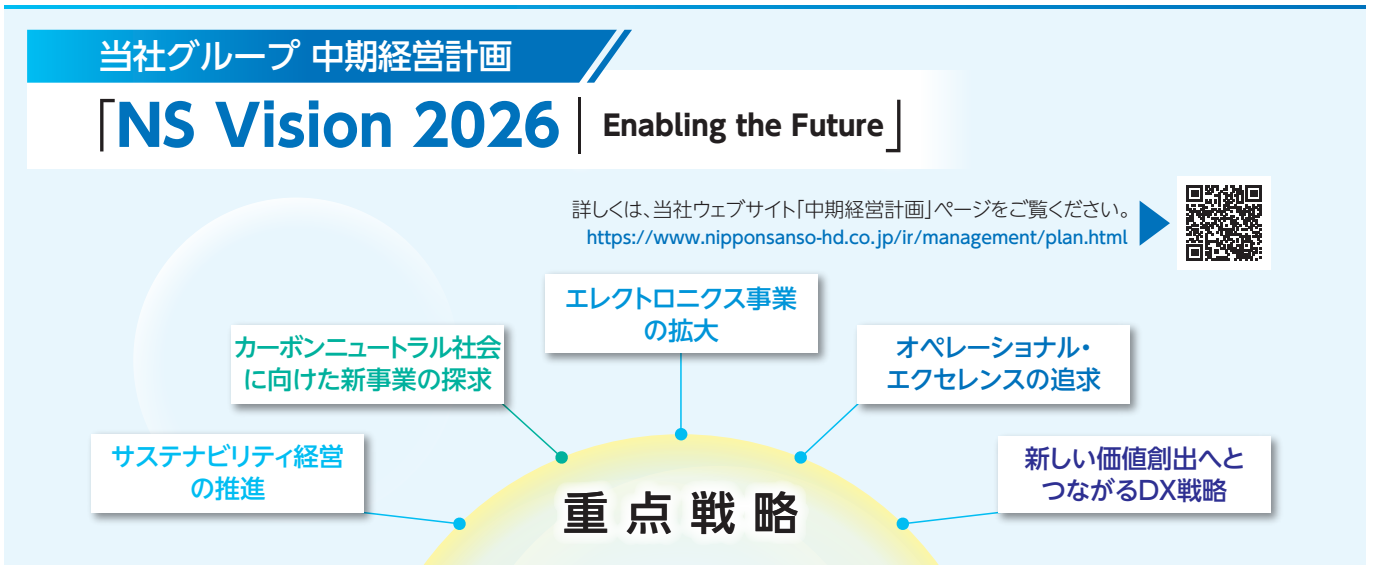


売上収益構成比



中期経営計画「NS Vision 2026 | Enabling the Future」 ～重点戦略関連トピックス～

当社グループでは、2026年3月期を最終年度とする4カ年の中期経営計画「NS Vision 2026」を策定しており、今年度はその2年目を迎えております。その中で5つの重点戦略を掲げていますが、以下ではESG関連のトピックスを紹介させていただきます。



▶ カーボンニュートラルに関するウェブページのご案内

昨年開設した本サイトでは、カーボンニュートラル実現に向けた技術や顧客ソリューションなどを多数掲載しております。その他関連するニュースなどもご覧いただけます。

▶ 1PointFiveのDACプラント向け 酸素供給契約を締結

当社米国事業法人の Matheson Tri-Gasでは、空気中からCO₂を直接回収するDAC (Direct Air Capture、直接空気回収) 事業を推進する1PointFive社と酸素供給契約を締結しました。酸素はDAC工程で使用され、その工程で生成されるCO₂は貯留槽に安全に隔離されます。この技術は実質CO₂排出をマイナスにすることを可能にします。



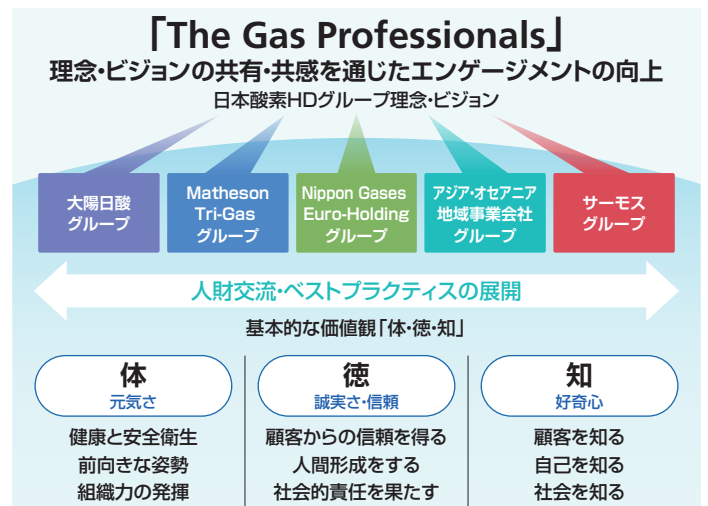
DACはそのユニークなアプローチでカーボンニュートラル社会に向けて大きな可能性を秘めており、注目を集めています。



▶ 当社の人的資本に関して

統合報告書で、当社の人財に関する理念やダイバーシティの推進に関する課題・施策などを紹介しています。

企業理念とグループビジョンのさらなる浸透を図り、グローバルで共通の価値観を持った人財の育成を図ってまいります。詳しくは統合報告書（28ページ～）をご覧ください。



トピックス

「日本酸素ホールディングス統合報告書2023」を発行しました。

2023年9月に、当社グループの財務情報と非財務情報を1冊にまとめた「統合報告書」を発行いたしましたので、お知らせいたします。

最終年度である2026年3月期に向けて2年目を迎えている中期経営計画「NS Vision 2026」の進捗を中心に、具体的な事例を交えながら、当社の価値創造ストーリーをご理解いただけるよう留意して編集いたしました。

幅広い内容のものを読みやすくコンパクトに編集しておりますので、ぜひご覧ください。



個人投資家向けのセミナー開催

2023年8月8日（火）に、野村証券グループの野村インベスター・リレーションズ（株）を通じて、個人投資家向け企業IRセミナーを開催しました。当社グループの事業概要や業績の他、成長戦略を中心とした当社の紹介をいたしました。



2023年9月3日（日）に東京にて、大和証券グループの大和インベスター・リレーションズ（株）を通じた個人投資家向け企業IRセミナーを開催しました。当社社長の濱田より、事業概要、成長戦略、事業トピックスなどの当社の説明に加え、当社グループであるサーモスの新製品の展示も実施しました。

当社YouTubeチャンネルのご紹介

当社では情報発信の一環でYouTubeチャンネルを開設しております。多くの個人投資家の皆様に当社の事業について知っていただくため様々なコンテンツ（事業紹介、エアセパレートガスについてなど）を作成しております。今後のコンテンツ拡充、チャンネルの改善に際して皆様のご意見をぜひお聞かせください。



当番組の出演の様子もご覧いただけます！

日経CNBC『朝エクスプレス』に出演！

番組内の『トップに聞く』コーナーで社長の濱田より当社の事業概要、足元の業績推移、今後の成長戦略などについてお伝えいたしました。右のQRコードから生放送動画をぜひご覧ください。



IRニュースメール配信サービス

当社ウェブサイトまたはQRコードからメールアドレスをご登録いただきますと、最新の適時開示等、当社IR情報について、公表と同時に自動でメール受信いただけます。



THERMOS

新製品情報はここから



サーモス事業

- 1904年にドイツにてサーモスブランドが誕生
- 1980年設立
- 従業員数：約300名（日本国内）
- 日本を含む世界15カ国に拠点
- 生産工場はマレーシア、フィリピン、中国
- 『THERMOS』ブランドを世界120カ国以上で展開
- 毎年100アイテム以上の新製品を発売
- 世界で3,700万個／年を生産



お弁当で麺が楽しめる「そと麺」 ヌードルコンテナが新登場

本体容器に麺類、内容器にトッピングやおかずを。ステンレス製魔法びん構造になっているスープジャーに温かい／冷たいつゆを入れて持ち運べます。オフィスや屋外で「そと麺」が楽しめます！



持ち運びに便利な キャリーハンドル付きタンブラー！

折りたためるキャリーハンドル付きなので、会社やお出かけなどに気軽に持ち運べます。



サーモス製品を使用したレシピのご紹介



サーモスのHPにてサーモス製品を使った料理のレシピを多数ご紹介しております。毎日の食事の献立にぜひお役立てください！



サーモスのフライパンも
好評発売中



「使用済みステンレス製魔法びん」回収サービスを開始しました



サーモスではサステナビリティテーマとして「人と環境にやさしいサーモス」を掲げています。そのテーマのもと、現在使用済みステンレス製魔法びんの回収サービスを一部店舗で開始しました。回収したものを破碎・選別の上、再生材としてさまざまな製品の素材に再利用されます。今後状況を確認しながら、回収拠点を順次拡大していく予定です。



連結財務諸表

連結財政状態計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当上半期末 2023年 9月30日現在	前期末 2023年 3月31日現在
資産		
流動資産 ①	660,098	527,074
非流動資産 ①	1,765,896	1,631,875
資産合計	2,425,994	2,158,950
負債及び資本		
負債		
流動負債 ②	435,247	425,157
非流動負債 ②	1,102,852	975,796
負債合計	1,538,100	1,400,953
資本		
資本金	37,344	37,344
資本剰余金	51,316	51,610
自己株式	△237	△233
利益剰余金	577,893	537,867
その他の資本の構成要素	186,434	97,724
親会社の所有者に帰属する持分合計	852,751	724,314
非支配持分	35,142	33,682
資本合計 ③	887,894	757,996
負債及び資本合計	2,425,994	2,158,950

POINT ① 流動資産・非流動資産

流動資産・非流動資産は、現金及び現金同等物や為替の影響等による有形固定資産、無形資産などの増加等により、前期末に比べ2,670億44百万円増加しました。

POINT ② 流動負債・非流動負債

流動負債・非流動負債は、社債及び借入金や繰延税金負債などの増加等により、前期末に比べ1,371億46百万円増加しました。

POINT ③ 資本合計

資本合計は、在外営業活動体の換算差額や親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加等により、前期末に比べ1,298億97百万円増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当上半期 2023年4月1日～ 2023年9月30日	前上半期 2022年4月1日～ 2022年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー ⑦	87,976	72,122
投資活動によるキャッシュ・フロー ⑧	△55,668	△42,252
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑨	44,745	△25,448
現金及び現金同等物に係る 為替変動による影響	8,414	2,896
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	85,468	7,318
現金及び現金同等物の期首残高	132,217	93,697
売却目的で保有する資産への振替に伴う 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△609	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	217,077	101,015

POINT ⑦ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益、営業債務の増減額、棚卸資産の増減額等により879億76百万円の収入となりました。

POINT ⑧ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により556億68百万円の支出となりました。

POINT ⑨ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入、長期借入れによる収入、コマーシャル・ペーパーの純増減額等により447億45百万円の収入となりました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当上半期 2023年4月1日～ 2023年9月30日	前上半期 2022年4月1日～ 2022年9月30日
売上収益 ④	612,571	573,699
売上原価	△364,586	△366,611
売上総利益	247,985	207,088
販売費及び一般管理費	△167,822	△152,456
その他の営業収益	1,848	3,704
その他の営業費用	△1,440	△5,558
持分法による投資利益	1,005	1,093
営業利益 ⑤	81,576	53,872
金融収益	2,571	2,392
金融費用	△12,598	△6,623
税引前四半期利益	71,549	49,641
法人所得税	△21,110	△13,219
四半期利益	50,438	36,422
四半期利益の帰属		
親会社の所有者 ⑥	48,547	35,149
非支配持分	1,890	1,272

POINT ④ 売上収益

売上収益は、セパレートガスの出荷数量は前期比で減少しましたが、コスト増加分の販売価格への転嫁や為替の影響等により、前年同期比で388億71百万円の増収となりました。

POINT ⑤ 営業利益

営業利益は、地政学リスク、世界的な物価上昇、円安の進行など、引き続き先行きを見通すことが困難な状況でしたが、欧米での電力コストの負担緩和やコスト増加分の販売価格への転嫁、為替の影響等により、前年同期比で277億3百万円の増益となりました。

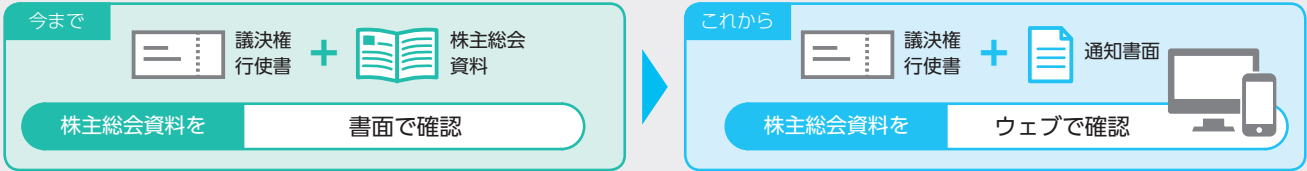
POINT ⑥ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、営業利益の増加等により、前年同期比で133億98百万円の増益となりました。

2024年以降の株主総会における株主総会資料のご案内方法等につきまして

2022年9月1日施行の改正会社法により、株主総会資料の電子提供制度が開始しましたが、2023年6月開催の第19回定時株主総会におきましては、書面交付請求の有無に関わらず、一律に従前どおり株主総会資料を書面でお送りしました。次回2024年6月開催予定の第20回定時株主総会より、印刷した全文の株主総会資料はお送りせず、ウェブサイトへのアクセス方法等を記載した通知書面をお送りして、株主総会資料は同ウェブサイトを通じてご覧いただくことを予定しております。

引き続き書面で株主総会資料の受領を希望される場合、株主総会基準日（3月末日）までに、下記みずほ信託銀行の窓口またはお取引先の証券会社へ書面交付請求のお手続きをお願いいたします。なお、お手続きにお時間がかかる場合がありますのでお早めにお手続きください。



みずほ信託銀行 お問い合わせ窓口

電子提供制度に関するFAQ

https://contact.www.mizuho-tb.co.jp/category/show/72?site_domain=daikou

みずほ信託銀行 電子提供制度専用ダイヤル

☎ 0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)

*既に書面交付請求済みの株主様は、重ねての書面交付請求のお手続きは不要です。

■ 単元未満株式（1株～99株）をお持ちの株主様へ

● 単元未満株式（1株～99株）とは

当社の最低売買単位である1単元（100株）に満たない株式のことをいいます。単元未満株式（1株～99株）については、証券市場で売買することはできません。

単元株式	単元未満株式
<p>株主総会で議決権を行使できます。 証券市場で売買できます。</p>	<p>株主総会で議決権を行使できません。 証券市場で売買できません。</p>

ご利用方法
証券会社の口座をお持ちの株式については、お取引先の証券会社でお手続きください。また、特別口座をお持ちの株式については、当社の特別口座の口座管理機関までお問い合わせください。

*特別口座に株式をお持ちの株主様が、株式を売買される場合は、あらかじめ特別口座から証券会社の口座へ振り替えが必要となりますので、お早めにお手続きください。

上記ご案内の内容につきましては、以下にお問い合わせください。

お問い合わせ先 **みずほ信託銀行 証券代行部** フリーダイヤル **0120-288-324** (土・日・祝日を除く9:00~17:00)

● 単元株式（100株）にするには

単元未満株式をお持ちの株主様は、市場価格で、単元株式（100株）にするために必要な株数を当社からご購入（買増制度）または単元未満株式を当社に対しご売却（買取制度）いただくことができます。

(例) 40株をお持ちの株主様の場合

買増制度

60株を、当社から市場価格でご購入いただけます。



買取制度

当社が、40株を市場価格で買い取らせていただきます。



株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

①下記URLにアクセス

②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード **4091**

……以下の方でもアンケートにアクセスできます……

検索窓から

kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信

〔件名〕「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝 (QUOカードPay500円) を進呈させていただきます



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
<https://www.link-cc.co.jp>

●アンケートのお問合せ[e-株主リサーチ事務局]
MAIL: info@e-kabunushi.com

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	公告方法	当社ウェブサイト (https://www.nipponsanso-hd.co.jp/) に掲載します。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
定時株主総会	6月に開催	上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所
基準日	定時株主総会の議決権 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日	証券コード	4091
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社	単元株式数	100株

株式事務に関するご案内

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストランジでは、お取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行	本店および全国各支店
株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求) についてのお問い合わせ	お取引の証券会社等または右記みずほ信託銀行までお問い合わせください。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売却はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。



〒142-0062 東京都品川区小山一丁目3番26号

TEL (03) 5788-8500 (大代表) <https://www.nipponsanso-hd.co.jp/>

